

## ロゴマーク、並びに協議会キャッチフレーズ（PRツール）制作目的

### 背景

2016年7月に国立西洋美術館（ル・コルビュジエ建築）が世界文化遺産に登録された。ル・コルビュジエに師事した、日本近代建築の旗手、前川國男氏が手掛けた建築作品にも注目が集まっている。



前川國男氏の建築作品を文化交流施設等として利活用している8地域（埼玉県、東京都、神奈川県、岡山県、熊本県、新潟市、福岡市、弘前市）をネットワークで結び、それぞれの持つノウハウ・ツールを共有化。近代建築の公開・開放と誘客促進につなげていく。



### First STEP

**近代建築ツーリズムネットワークの活動、基本理念の周知。**

## CONCEPT

■基本形

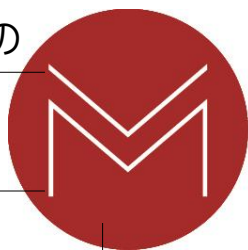
# 日本モダニズム建築の魅力を発信し、 価値を伝える。

日本モダニズム建築の公開・開放と誘客促進を目指し、「巡る・伝える・繋がる」を具現化。  
歴史的・文化的価値のある日本モダニズム建築を訪れ、その魅力を知り、学び、感じてほしいという願いを込めています。



MODERNISM  
ARCHITECTURE  
TOURISM

建築物へ導く矢印を  
ARCHITECTUREの  
「A」で表現



MODERNISM  
ARCHITECTURE  
TOURISM

MODERNISMの  
「M」で  
建築物を表現

- ・日本を象徴する日の丸・人の和、地域の和
- ・巡る、繋がる・持続性、無限性を表現

## COLOR

メインカラーの赤色は  
「日本を象徴する日の丸」  
「日本モダニズム建築への情熱」  
「動的なエネルギー」を意味して  
います。



C:0% M:100% Y:100% K:30%



C:0% M:0% Y:0% K:100%

近代建築ツーリズムネットワーク協議会キャッチフレーズ

# 世界が認めた文化を、日本の価値に

## 世界にその価値が認められていることに気づき

戦後激動のなか機能性や合理性、居住性などを追求した日本モダニズム建築。  
「日本」というフィルターを通して独自に進化し、後の建築の発展に大きく貢献しました。

キャッチフレーズではまず日本モダニズム建築は世界に誇る  
日本文化の1つであることを伝え、一般消費者などへ気づきを与えます。

## ツーリズムを通してモダニズム建築を楽しんでもらいたい

日本モダニズム建築の文化的価値。  
建築物自体の美しさと居心地の良い空間。  
前川國男をはじめをした近代建築家の人物像。  
これら魅力をツーリズムネットワークでプロモーションします。

世界が認めた文化を、日本の価値に



**MODERNISM  
ARCHITECTURE  
TOURISM**